

平成 20 年 12 月 25 日

各 位

株式会社三井住友銀行
株式会社日本システムディベロップメント

三井住友銀行と日本システムディベロップメントの業務提携について
～決済業務における内部統制強化ソリューションの推進で相互協力～

株式会社三井住友銀行（頭取：奥 正之）は、データ暗号化ソフトの取扱実績等において、国内で高い評価を得ている株式会社日本システムディベロップメント（代表取締役社長：沖中 一郎）と、決済業務における内部統制強化ソリューションの推進で相互協力する業務提携を締結いたしました。

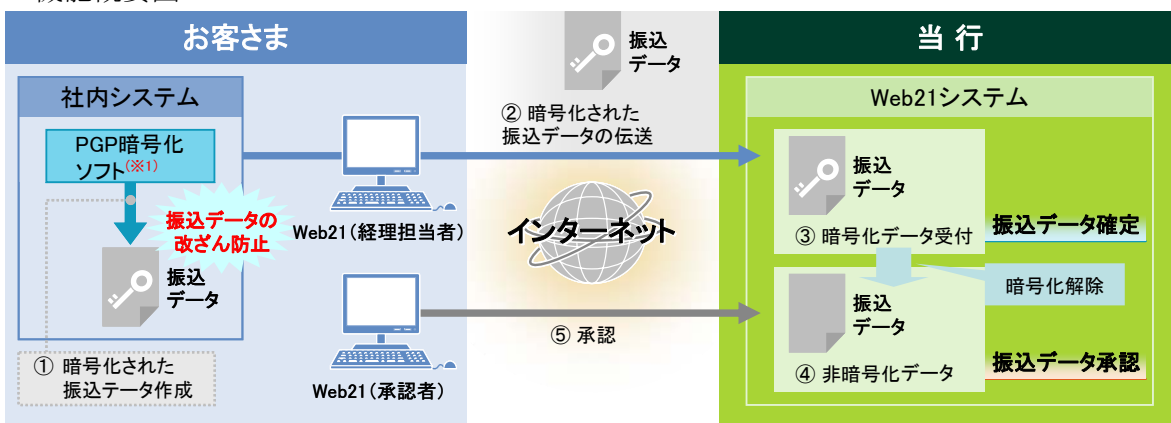
現在、日本国内においては日本版 S O X 法の施行等を背景に、内部統制強化の動きが活発化してきています。特に、内部統制強化を積極的に進めている上場企業や外資系企業では、日本版 S O X 法の重要な要素である「財務諸表の信頼性」に直接影響を与えかねない決済業務における社内不正防止が内部統制強化の 1 つのテーマとなっています。

三井住友銀行では、お客さまの決済業務における社内不正防止（内部統制強化）をサポートすべく、平成 20 年 7 月、法人向けインターネットバンキング「パソコンバンク W e b 2 1」において、お客さまの社内システムで暗号化された総合振込や給与（賞与）振込の振込データを直接取り込んで伝送できる機能を構築し、振込データ伝送担当者による改竄（社内不正）を予防することを可能としました。

本機能を利用するには、お客さま側の社内システムに「P G P 暗号化ソフト（※1）」の導入が必要となることから、今回、データ暗号化ソフトの取扱実績等において、国内で高い評価を得ている株式会社日本システムディベロップメントと業務提携することで、お客さまの決済業務における内部統制強化をより一層サポートしてまいります。

（※1）「P G P」とは「公開鍵暗号化方式」における世界標準となっている技術仕様であり、同方式の暗号化データを生成するために必要なソフトウェア。

<機能概要図>



<業務提携概要>

1. 顧客紹介

三井住友銀行のお客さまが「P G P暗号化ソフト」の導入を希望する場合、日本システムディベロップメントを紹介し、同社が「P G P暗号化ソフト」導入のサポートを実施。

2. セミナーの共催

日本システムディベロップメントが開催するセミナーに三井住友銀行が参加し、三井住友銀行が提供する決済業務における内部統制強化策を案内。

また、日本システムディベロップメントのホームページや同社が発行する機関誌等において、三井住友銀行が提供する「決済業務における内部統制強化策」の事例を掲載し、「P G P暗号化ソフト」を案内。

日本システムディベロップメントは、三井住友銀行との業務提携により、三井住友銀行が持つ豊富な顧客基盤を活用し「P G P暗号化ソフト」の販売ならびにシステム構築支援を積極的に進めることが可能となります。

三井住友銀行は、日本システムディベロップメントとの業務提携により、日本システムディベロップメントが持つ「P G P暗号化ソフト」導入に向けた営業力を活用でき、「P G P暗号化ソフト」の導入が未済のお客さまに対しても、パソコンバンクW e b 2 1を利用した決済業務における内部統制強化(内部不正防止)ソリューションを積極的に展開することが可能となります。

また、決済業務における内部不正防止の体制構築を検討しているお客さまにとっては、「P G P暗号化ソフト」導入からパソコンバンクW e b 2 1を活用した資金決済までの体制構築をスムーズに進めることが可能となります。

以 上

<企業概要>

■ 株式会社三井住友銀行

主な事業内容 : 銀行業
設立年月日 : 平成8年6月6日
所在地 : 東京都千代田区有楽町一丁目1番2号
代表者 : 頭取 奥 正之
資本金 : 6,649億86百万円(2008年9月30日現在)
従業員数 : 22,113名(単体)(2008年9月30日現在)

■ 株式会社日本システムディベロップメント

主な事業内容 : システム分析・設計の受託、プログラム開発及び受託、
ソフトウェアプロダクト、コンピュータ室運営管理
設立年月日 : 昭和44年4月8日
所在地 : 東京都新宿区西新宿二丁目7番1号
代表者 : 代表取締役社長 冲中 一郎
資本金 : 72億5百万円(2008年3月31日現在)
従業員数 : 3,773名(連結)(2008年3月31日現在)